

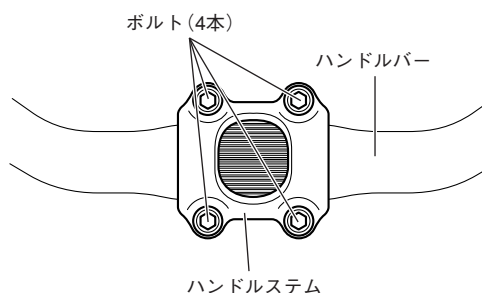
レベナ取扱説明書

- ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は大切に保管し、必要に応じて活用ください。
別冊の品質保証書と取扱説明書もよくお読みください。

ハンドルバーの固定方式

▲ 注 意

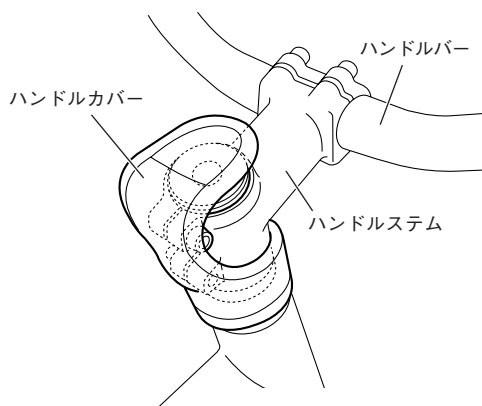
この自転車のハンドルバーはハンドルステムに、4本のボルトで固定されています。
固定・調整には4本のボルトを均等に締める必要があるため、調整は販売店へ依頼してください。



ハンドルステムの固定方式

▲ 注 意

ハンドルステム固定には一般の自転車とは構造が異なる「アヘッド式」を採用しています。
これらの固定方式は調整が複雑なため、ハンドル高さや向きの調整は、販売店へ依頼してください。



ハンドルカバーについて

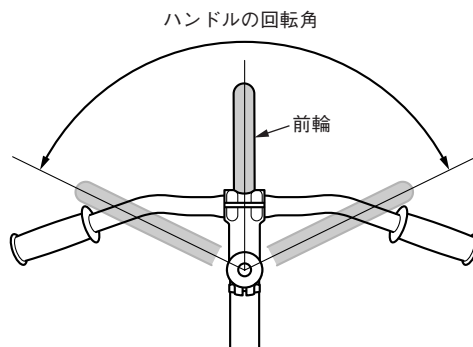
▲ 警 告

ハンドルカバーは、急停止した時に顔や体を直接ハンドルステムにぶつけるのを防ぐためのものです。
ケガ防止のため、ハンドルカバーを必ず装着してください。



ハンドルの回転角度

この自転車は、ハンドル（前輪の向き）が左右に必要以上に回らないよう設計されています。



サドルについて

この自転車ではスポーツ車用のサドルを採用しています。
クッション性を硬めに設定しているため、慣れるまでは十分注意して走行してください。

サドルの調整のしかた

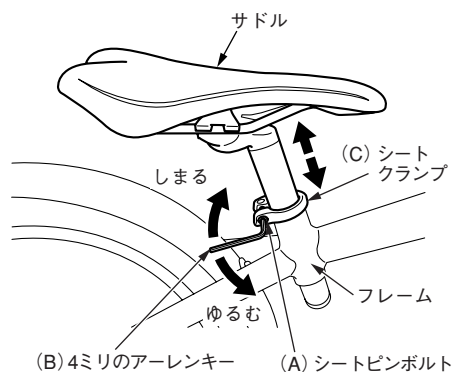
この自転車のサドル調整は以下のように行ってください。

《サドルの高さの調整》

- ①右側の(A)シートピンボルトを付属の(B)4ミリのアーレンキーでゆるめると、サドルを上下に調整できます。

⚠ 警 告

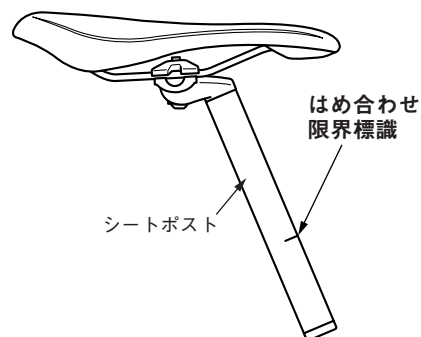
最も高くした場合でも、シートポストのはめ合わせ限界標識が見えなくなるまでフレームに挿入してください。
はめ合わせ限界標識が見えていないと、シートポストの折れや抜けにより、事故・けがのおそれがあります。



- ②固定するときは、右側のシートピンボルトを締め付けて固定してください。このとき(C)シートクランプが確実にフレームに差し込まれ、組み付いているかを確認してから締め付けてください。

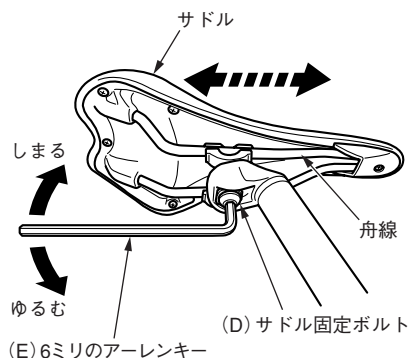
※標準締め付トルク: 4~6N・m (40~60kgf・cm)

- ③サドルが回らないことを確認してから乗車してください。



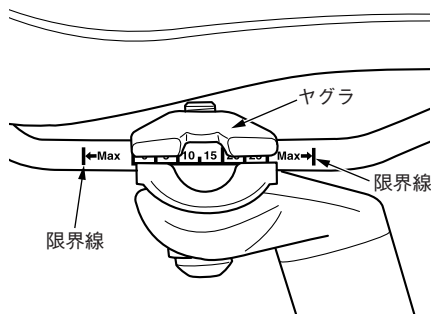
《サドルの前後位置、角度の調整》

- ①サドル下面の(D)サドル固定ボルトを付属の(E)6ミリのアーレンキーでゆるめると、サドルの前後位置と角度を調整できます。
- ②固定するときは、サドル裏面のサドル固定ボルトを締め付けて固定してください。
※標準締付トルク: 16~22N・m(160~220kgf・cm)
- ③サドルが動かないことを確認してから乗車してください。



⚠ 警 告

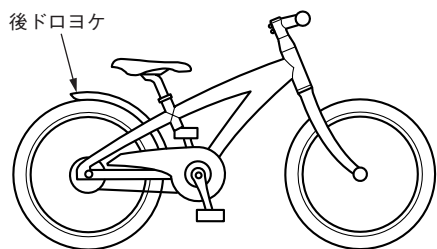
ヤグラの両端が、舟線の限界線よりはみ出さない位置で、サドルを固定してください。限界線よりはみ出した位置で固定すると、使用中にサドルが動くおそれがあります。



後ドロヨケについて

⚠ 警 告

後ドロヨケの上に乗らないでください。また、ドロヨケは持ち上げないでください。
後ドロヨケが破損したり、衣服や体が車輪に巻き込まれるおそれがあります。
また、ドロヨケ先端でケガをするおそれがあります。



ブリヂストンサイクル株式会社

〒 362-8520 埼玉県上尾市中妻 3 丁目 1 ー 1

お客様相談室

受付時間：9:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00

（土・日・祝日及び弊社指定休日は休み）

電 話：☎ 0120-72-1911、 FAX：048-772-5316

（携帯電話・国際電話・インターネット電話でのご利用はできません。）

IA00-734

0, D